

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	雨水施設整備事業		コード	担当課
			01-01-10-06	産業建設課
事業実施期間	平成元年度～平成21年度		担当者	中原静枝
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目	生活しやすいまちづくり		
	小項目	下水道		
	施策	雨水対策の推進		
			電話	0869-84-2513

事業について	
目的	近年の台風災害による浸水被害を解消すべく、雨水整備をする。
対象(誰のために)	吉永排水区内(115ha)全ての住民・家屋等
内容	水路改修(12,080m)及び雨水ポンプ場の建設

事業の結果	
実施項目	17年度
	回数など(単位)
水路延長	580 m
実施設計	1 件

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	135,852	国庫補助金等	31,990	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	6,450	受益者負担	10,351	人件費		受益者負担	
	合計	142,302	一般財源等	14,861	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.75	人
結果指標名	水路延長	
結果指標量	580	
単位	m	
対前年比	—	
事業費	134,658,500	円
単位当たりコスト①	232,170	円

結果指標名	実施設計	
結果指標量	1	
単位	件	
対前年比	—	
事業費	7,643,500	円
単位当たりコスト②	7,643,500	円

事業の成果			
成果指標名	整備率	式又は説明	累積供用整備面積/認可計画整備面積*100 (77.3ha/115ha*100)
成果指標量	17年度 67.2%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	100%	到達目標年度	平成21年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	経済的な問題等が弊害となってくると思われるが、計画の円滑な推進に向け、1年でも早い事業完了を目指す。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	市民ニーズの妥当性	今後の整備に対し最適な手段を職場内で確認し、見直しをしながらコスト縮減に努める。
	市の関与の妥当性	
	コストの効率化	
有効性の評価	手段の最適化	整備率は年々向上しており、快適な環境づくりは整備されている。
	職場の効率化	
	目的達成度	
総合評価	成果向上の可能性	評価区分 <A~E> A
	市民参画度	
	コメント	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	
コメント	近年の異常気象の増加に伴う被害を解消するため、雨水管渠の整備・雨水処理に必要なポンプ場の設置を早期完了を目指し、推進していく。
評価区分	<A~E> A

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	482m
目標値	結果指標量②
	69.0%

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果